



Sustainability Report 2025



CONTENTS

企業紹介 … P2

社長メッセージ … P3

サステナビリティ方針 … P4

ESG取り組み事例 … P5～7

ESGデータ集 … P8～10

編集方針

- | | |
|----------|--|
| ・ 報告対象範囲 | 高松機械工業株式会社単体 |
| ・ 報告対象期間 | 2024年度(2024年4月～2025年3月)の活動について報告
※対象期間前後の活動も一部含む
※2025年度より、サステナビリティ推進におけるマテリアリティ等を変更したことに伴い、本紙は現在のホームページ上の内容と一部異なる内容となっています。 |
| ・ 掲載場所 | 当社ホームページにて公開
URL : https://www.takamaz.co.jp/sustainability/ |
| ・ 発行部門 | 高松機械工業株式会社
管理本部 企画経理部 経営企画課
E-mail : k-kikaku@takamaz.co.jp
TEL : 076-274-1410 FAX : 076-274-1418 |

経営理念

TAKAMAZ は「社会に貢献」する。

お客様には、安全でメリットのある商品を

従業員には、生活の安定と希望を

株主には、適切な配当を

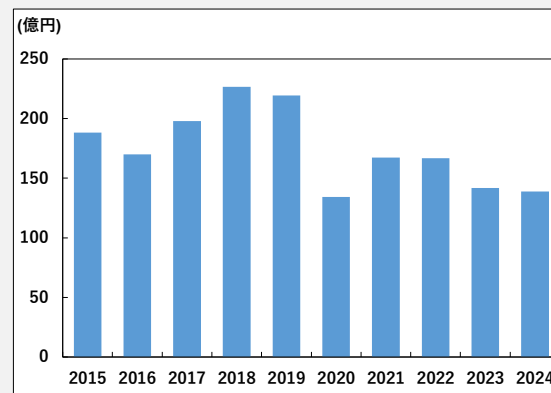
提供すると共に、協力企業とも共存共栄の精神をもって、
社会の発展に積極的に貢献する。

企業概要（2024年度末現在）

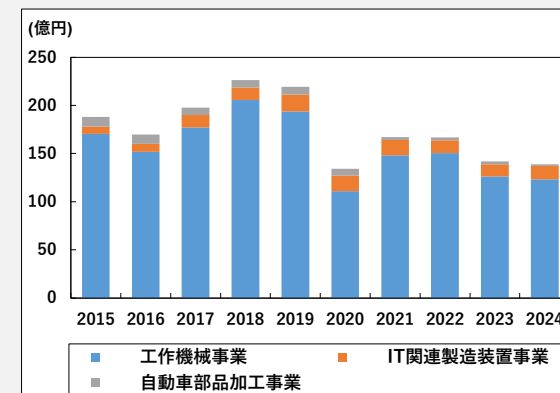
会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
本社所在地	石川県白山市旭丘1-8
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード 6155)
連結売上高	138億93百万円
正社員数	連結：547名 単体：493名（平均年齢 39.6歳）
生産拠点	・本社工場 ・あさひ工場 ・第2工場 ・第3工場 ・開発センター
国内拠点	・関東支店 ・名古屋支店 ・大阪支店 ・東北営業所 ・北信越営業所 ・厚木営業所 ・浜松営業所 ・広島営業所
海外拠点	・TMU(アメリカ)・TME(ドイツ)・TMT(タイ) ・喜志高松(中国)・友嘉高松(中国) ・PTTI(インドネシア)・TMVN(ベトナム) ・TMMX(メキシコ)

業績（連結）

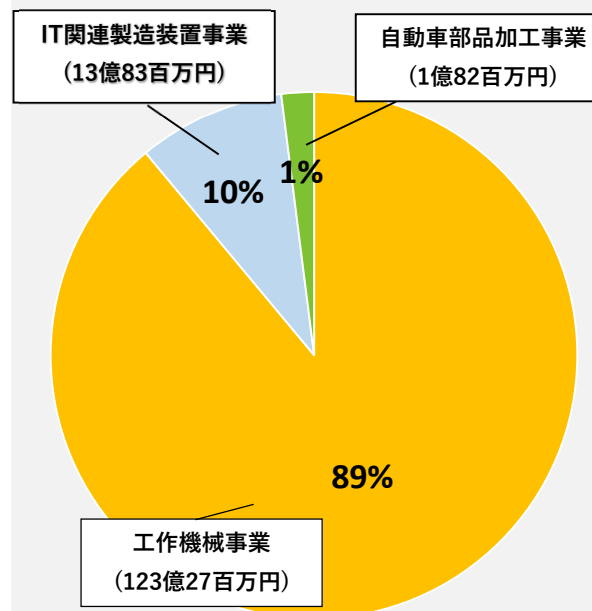
■連結売上高



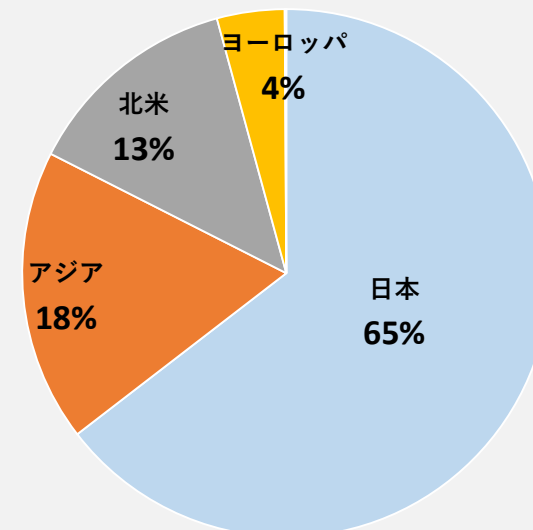
■セグメント別連結売上高



■セグメント別構成比（2024年度）



■地域別構成比（2024年度）



TAKAMAZの企業概要の詳細はHPにも掲載しています。下記リンクよりご確認ください。

・「TAKAMAZってどんな会社？」⇒(<https://www.takamaz.co.jp/company/about/>) ・「5分で分かる！高松機械工業」⇒(<https://www.takamaz.co.jp/column/3045/>)

社長メッセージ

社会や環境を常に意識して取り組み 持続可能な経営を実現します

代表取締役社長 高松 宗一郎



はじめに

ステークホルダーの皆様には、当社に対するご理解、ご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

毎年、社会や自然環境が目まぐるしく変化する中、事業者として様々な面で社会への貢献を果たし、持続可能な経営に向けて社員とともに取り組んでいます。

CO₂削減への取り組み

昨今の酷暑や大雨などの異常気象は大気中のCO₂の増加が原因と考えられており、事業者としてCO₂排出の削減は重要な課題として捉えています。当社では主に、日々の企業活動や、当社製品の性能向上によって、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。

当社は企業活動で使用する電力の一部をクリーンエネルギーに置き換えるために、太陽光発電の導入を進めています。

2024年度は、あさひ工場に屋根設置型の太陽光発電設備を設置し、10月より運用を開始しました。稼働開始から十分な効果を発揮しており、2023年度に導入した本社工場の太陽光発電設備とあわせると年間440トンのCO₂削減に貢献しています。

2025年度は「オフサイトPPA」という当社敷地外での太陽光発電の開始を予定しており、クリーンエネルギーの更なる活用拡大を見込んでいます。

製品の性能向上については、待機電力を抑制するアイドルストップなど環境を考慮した様々な機能を開発し、新機種への搭載を進めています。これによりお客様側でのCO₂削減にも貢献しています。

この他、ペーパーレス化や資源の再利用など日々の企業活動において様々な取り組みを行い、間接的な形でCO₂の排出を減らす取り組みを推進しています。引き続き環境負荷を減らすべく取り組んでいきます。

人材育成への取り組み

当社は、地域を代表する機械メーカーとして、大学、高等専門学校、高校での講義や、インターンシップの受け入れなどを積極的に行っています。

2024年度は、当社技術部の社員などを中心に、北陸の各種学校において工作機械の開発や設計などの講義を行いました。インターンシップについては、年間を通じて多くの学生に参加してもらい、座学だけでなく実際の作業を通じて多くを学んでもらいました。

このような機会を通じて、当社の魅力を発信するとともに、機械に対する興味や理解を深めてもらいたいと思います。

いきいき働ける環境づくり

当社は、社員がいきいきと働くことのできる環境づくりを推進しています。

2024年度は、社員の「こころ」と「か

らだ」の健康保持・増進のための

「TAKAMAZ健康経営宣言」をより充実させました。また、それに基づき社員の健康状態の把握や、生活習慣病の予防、ワークライフバランスについてなど様々な取り組みを実施し、昨年に続き「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」にも認定されました。

社員の日々の生活を充実させ、一人ひとりの個性や能力が最大限に発揮されることで企業の発展や社会への貢献につながるものと考えます。

今後の展望

持続可能な経営は、社会や環境と密接につながっており、様々なステークホルダーとの結びつきが重要と考えます。今後も全社一丸となって取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TAKAMAZのサステナビリティ

サステナビリティ基本方針

「TAKAMAZは、常に挑戦し続けるモノづくりを通じて、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献します。」

高松機械は、「社会に貢献する」を経営理念に、創業以来モノづくりに取り組んできました。

近年、SDGs・カーボンニュートラルなど、サステナビリティを巡る様々な社会課題が山積しており、企業活動を通じて、これら課題解決への貢献が求められています。

これら課題への取り組みが、当社経営理念「社会に貢献する」と同じゴールに向かっていくと確信しています。

私たちは、企業価値の源泉であるモノづくりを通じて、これからも持続可能な社会の実現に貢献していきます。

サステナビリティ推進におけるマテリアリティ（2024年度時点）

事業活動に関わるさまざまな課題のなかから、「ステークホルダーにとっての重要度」と「自社が社会・環境・経済に与える重要度及び自社の経営にとっての重要度」の2つの視点のもと取り組みの検証を行い、以下の4つのマテリアリティ（重要課題）を定めました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由
・ Environment（環境） 「モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します」 私たちは、地球環境の保全と利用のバランスを維持し、持続可能な世界を目指すことを、重要な社会課題と認識しています。工作機械をはじめとした優れたモノづくりにより、地球環境負荷の軽減に取り組んでいます。
・ Social（社会） 「モノづくりを通じて社会に貢献します」 私たちは、本社・国内各拠点・海外グループ各社それぞれの地域社会と共に事業活動を行っています。地域社会と共生し、成長発展する好循環を生み出していきます。
・ Governance（ガバナンス） 「社員と会社の持続的な成長を目指します」 私たちは、社員すなわち「人材」こそが、企業の成長や発展の源泉であると認識しています。社員一人一人が、働きやすさや働きがいを感じ、健康に仕事ができる環境を整備し、会社と共に成長する好循環を生み出していきます。 「経営基盤をさらに強化します」 私たちは、企業活動の土台である経営基盤の強化を重要な課題と認識しています。上場企業として、コーポレート・ガバナンスに基づいた経営を行っています。

サステナビリティ体系図（2024年度時点）

以下は、私たちのサステナビリティの取り組みの中核となる「体系図」です。「体系図」に基づき、取り組みを推進していきます。

	分類	マテリアリティ（重要課題）	取り組み方針	SDGsの達成
ESG	① 環境 (E)	モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します	①地球にやさしい製品を提供します。	   
			②企業活動での省エネルギー化を推進します。	
			③政府方針に準じてカーボンニュートラルを推進します。	
	② 社会 (S)	モノづくりを通じて社会に貢献します	①安全・安心・高品質な製品を安定的に提供します。	   
			②ITを活用した企業活動を推進します。	
			③協力企業と連携します。	
			④地域社会に貢献します。	
	③ ガバナンス (G)	社員と会社の持続的な成長を目指します	①働きやすい、働きがいのある職場環境を整備することで、従業員エンゲージメントを高めます。	  
			②健康経営を推進します。	
		経営基盤をさらに強化します	③挑戦し、成長し続ける社風を醸成します。	
			①全社最適な会社運営を行います。	
			②事業ポートフォリオへの分析に基づく経営資源の投入を行い、持続的な会社発展に努めます。	 

E（環境）

環境面では、省エネ・省スペースな新製品開発に注力し、環境負荷の低い製品をお客様に提供するとともに、認証取得しているISO14001に基づき、環境方針と環境目標の達成をはかってきました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由

「モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します」

私たちは、地球環境の保全と利用のバランスを維持し、持続可能な世界を目指すことを、重要な社会課題と認識しています。工作機械をはじめとした優れたモノづくりにより、地球環境負荷の軽減に取り組んでいきます。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
①地球に優しい製品を提供します。	
②企業活動での省エネルギー化を推進します。	   
③政府方針に準じてカーボンニュートラルを推進します。	

取り組み事例

新製品・新技術による消費電力及びCO₂排出量の削減

当社は、ユーザであるお客様のエネルギーコストの抑制や、カーボンニュートラルの実現に寄与するため、消費電力量を抑制したり、1台で複数の加工を行える機械の開発に注力しています。

2024年度に市場投入した「XTL-8MY」は、省エネルギーレベルの選択機能やアイドルストップ機能により、機械稼働時だけでなく、段替作業時も消費電力量を削減しており、従来機に比べて約5%の消費電力削減を実現しています。また、当機種は旋盤加工のほかフライス加工も行うことができ、1台で複数の加工を行うことで高効率な生産を実現し、生産全体における機械の稼働時間短縮が期待されます。

今後もカーボンニュートラルに貢献する製品の提案を推進し、事業を通じたサステナビリティ実現に向けて積極的に取り組んでいきます。



XTL-8MY



JIMTOF2024の様子

太陽光発電設備によるCO₂排出量削減

2023年度の本社工場における太陽光発電開始に続き、2024年10月1日、あさひ工場での「屋根設置型」太陽光発電設備の運用を開始しました。稼働開始から2025年3月末までの約6か月間で、約11万kWhを発電し、約55トンのCO₂排出量を削減できました。2024年度は本社工場も含めると太陽光発電により年間約440トンのCO₂排出を削減し、カーボンニュートラルの実現に向けて大きく前進することができました。

2025年度には「オフサイトPPA」による太陽光発電の開始も予定しており、引き続き再生エネルギーの利用拡大に向けて積極的に取り組んでいきます。



あさひ工場上空画像

S (社会)

社会面では、高い技術を誇る製品を安定供給するとともに、地域社会の一員として社会の期待に応えてきました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由

「モノづくりを通じて社会に貢献します」

私たちは、本社・国内各拠点・海外グループ各社それぞれの地域社会とともに事業活動を行っています。地域社会と共生、成長発展する好循環を生み出していきます。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
①安心・安全・高品質な製品を安定的に提供します。	
②ITを活用した企業活動を推進します。	   
③協力企業と連携します。	  
④地域社会に貢献します。	

取り組み事例

新規生産設備の導入による生産性の向上

2023年度から2024年度にかけ、機械部品の荒加工処理の効率化を目的として、本社工場に新規設備を導入しました。この設備の導入により作業自体やメンテナンスが各段に容易になり、生産性が大きく向上。品質、納期ともに安定的な製品の供給に貢献しています。引き続き安定的な製品供給に向け、様々な形で生産性の向上に取り組めます。



新規生産設備

地域の森林保全活動の推進

当社は「（公社）石川の森づくり推進協会」の理念に賛同し、会員として、地域の植樹・育樹などの活動に参加しています。2024年度は、11月にかほく市で松の苗木の植樹を行いました。自然豊かな石川で働く企業として、常に地域の自然環境を意識して活動に取り組んでいます。



植樹活動の様子

学生向けインターンシップの推進

当社では、就業体験の機会を通じ、モノづくりや、当社についての理解を深めてもらうことを目的として、県内や近県の学生向けにインターンシップを実施しています。2024年度は、夏季・冬季・長期あわせて総勢15名の学生が参加し、座学だけでなく実際の作業を通じて多くを学んでもらいました。今後も学生の皆さんにモノづくりの面白さや、当社の仕事に興味をもってもらえるように取り組んでいます。



インターンシップの様子

G (ガバナンス)

ガバナンス面では、すべてのステークホルダーから信頼され、魅力ある企業となるべく、最適な体制の構築と強化をはかってきました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由

「社員と会社の持続的な成長を目指します」

私たちは、社員すなわち「人材」こそが、企業の成長や発展の源泉であると認識しています。社員一人一人が、働きやすさや働きがいを感じ、健康に仕事ができる環境を整備し、会社とともに成長する好循環を生み出していきます。

「経営基盤をさらに強化します」

私たちは、企業活動の土台である経営基盤の強化を重要な課題と認識しています。上場企業として、コーポレート・ガバナンスに基づいた経営を行っています。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
「社員と会社の持続的な成長を目指します」	
①働きやすい、働きがいのある職場環境を整備することで、従業員エンゲージメントを高めます。	3 持続可能な消費と生産 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を促進しよう
②健康経営を推進します。	8 働きがいも経済成長も 9 産業と地域創生の振興を図ろう
③挑戦し、成長し続ける社風を醸成します。	
「経営基盤をさらに強化します」	
①全社最適な会社運営を行います。	3 持続可能な消費と生産 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を促進しよう
②事業ポートフォリオへの分析に基づく経営資源の投入を行い、持続的な会社発展に努めます。	8 働きがいも経済成長も 9 産業と地域創生の振興を図ろう

取り組み事例

健康経営優良法人2025（大規模法人部門）の認定

当社は、昨年度に続き、健康経営優良法人2025(大規模法人部門)に認定されました。この制度は優良な健康経営を実践している法人に対して、経済産業省及び日本健康会議が毎年顕彰するものです。

当社は健康経営に向けて様々な取り組みを行っていますが、2024年度は、当社として新たに外部保健師による健康相談の仕組みを整えた点などが評価され、継続的な認定に繋がりました。引き続き社員がいきいきと働く環境づくりを推進していきます。



未来推進チームによる活動

「家族・友人に誇れる会社」を目指し、2022年度に中堅・若手の有志社員で結成された未来推進チームは、2024年度も以下のように様々な取り組みに挑戦しました。

- タカマツアワード2025 : 社内表彰制度
- 当社公式キャラクターの制作 : 社内公募による公式キャラクターの決定
- 涼感ポロシャツの試験導入 : 夏場の暑さに対応するための施策
- T-オフィスフリマの導入 : 余分な事務用品を社内で融通する施策・・・等

当社は、このような中堅・若手が挑戦できる環境を整える等、成長する社風を醸成に努めています。



ミッション・ビジョン・バリュー（MVV）の策定

この度当社では、企業としての継続的な発展を見据え、社員全員が目線を合わせて目標に向かって進むための指針として「ミッション・ビジョン・バリュー（MVV）」を策定しました。策定にあたっては全社員のアイデアや意見が盛り込まれ、大変わかりやすいものになりました。

この"MVV"の下、さらなる飛躍に向け社員一丸で取り組んでいきます。

経営理念	高松機械は「社会に貢献」する お客様には、安全でメリットのある商品を、従業員には、生活の安定と希望を、株主には、適切な配当を提供するとともに、協力企業とも共存共栄の精神をもって、社会の発展に積極的に貢献する。
Mission 私たちの使命、存在理由	●社会課題を解決する製品、技術、サービスの提供を通じて、日本、そして世界のモノづくりを支える。
Vision 私たちの目指す姿、将来像	●お客様や社会の課題を解決し、進化を続けるビジネスパートナー ●社員が地域や社会、家庭に誇れる会社
Value 私たちの行動指針、判断基準	●課題やニーズに徹底的に向き合い、チャレンジし続ける。 ●「稼ぐ機械」を提供し、お客様のモノづくりに貢献します。 ●ともに働く仲間を尊重し、力を結集して、組織として最高のパフォーマンスを発揮します。

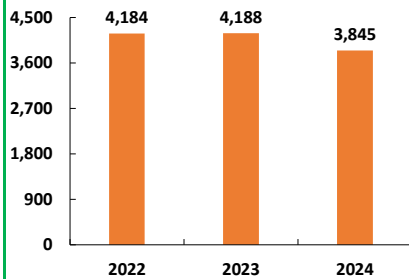
ESGデータ(1)

・ 報告対象期間 2024年度(2024年4月～2025年3月)

●環境に関するデータ

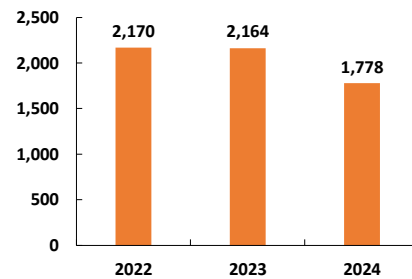
■Scope1+2 温室効果ガス排出量

(t-CO2)



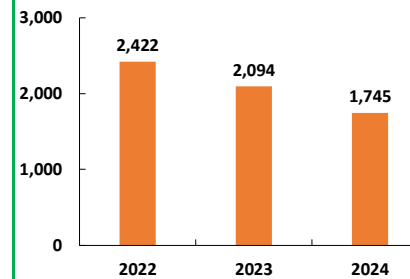
■原油換算エネルギー使用量

(原油換算kℓ)



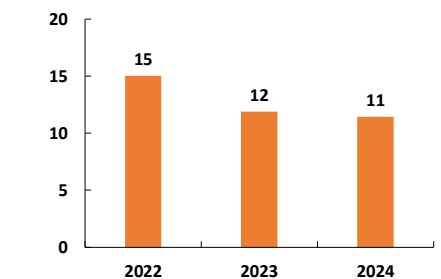
■コピー用紙使用量

(千枚)

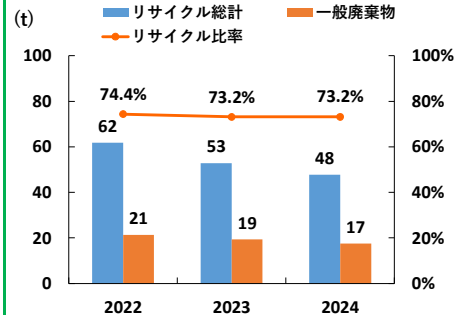


■廃プラ類

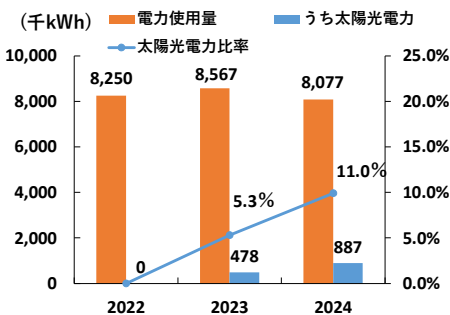
(t)



■リサイクル量と一般廃棄物量

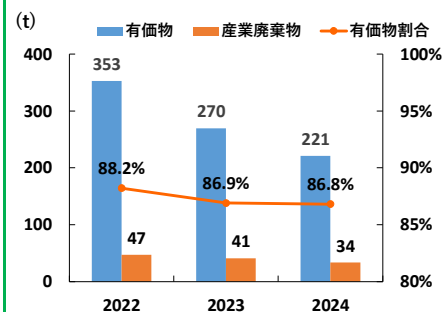


■電力使用量

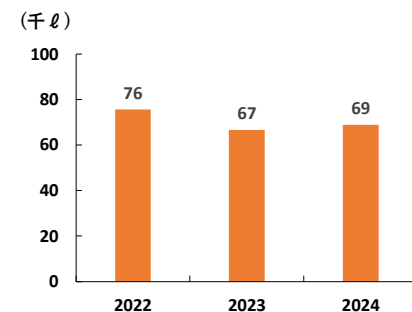


※ 2023年度夏より太陽光発電設備が稼働

■有価物量と産業廃棄物量



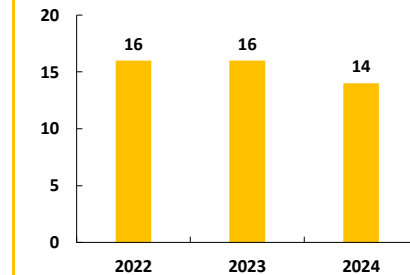
■廃油



●社会に関するデータ

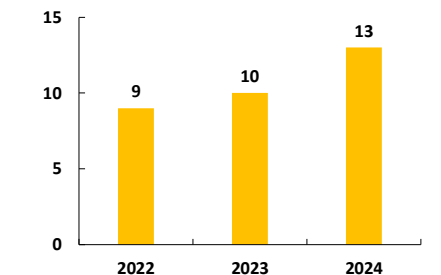
■インターンシップ受け入れ人数

(人数)



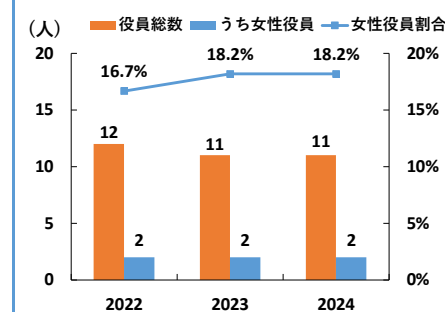
■工場見学受け入れ件数 (学校・各種団体)

(件数)

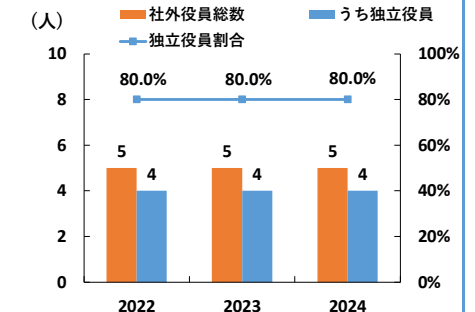


●ガバナンスに関するデータ

■役員総数と女性役員



■社外役員総数と独立役員

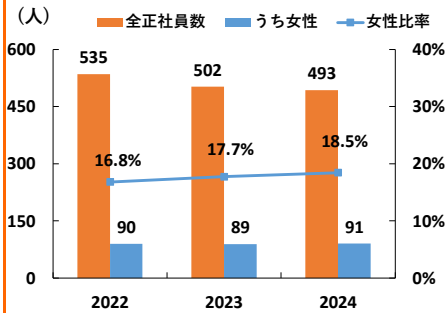


ESGデータ(2)

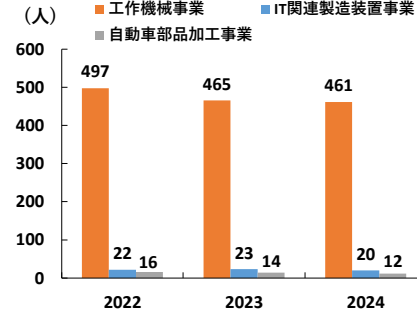
・報告対象期間 2024年度(2024年4月～2025年3月)

●正社員に関するデータ

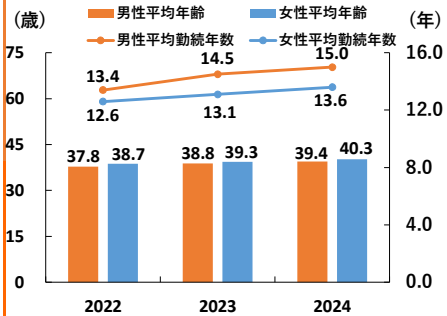
■正社員数



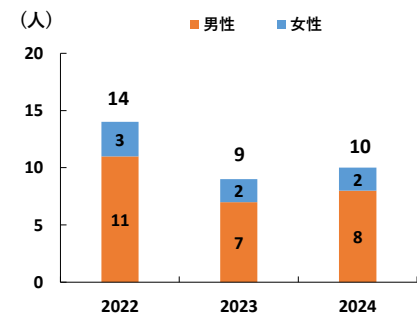
■事業別正社員数



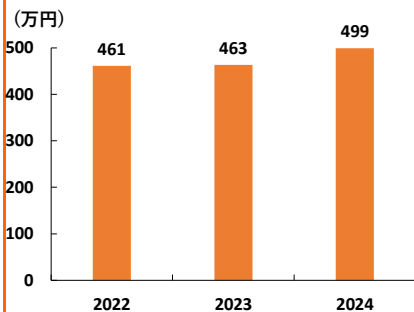
■平均年齢と平均勤続年数



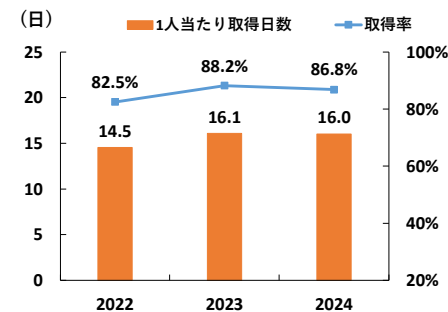
■新規採用者数



■平均年間給与



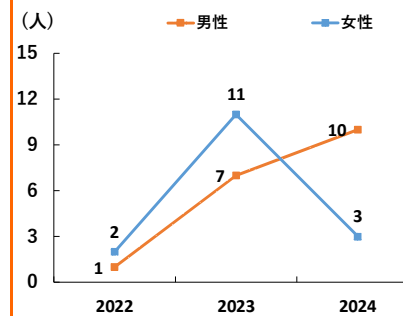
■有給休暇取得日数と取得率



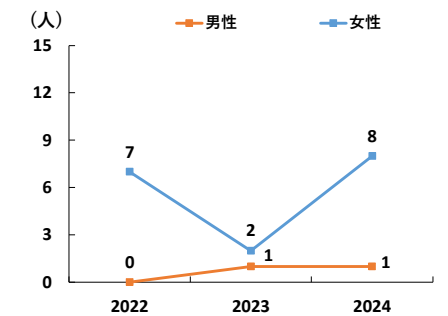
■仕事と家庭の両立支援制度

制度名	制度概要
育児休業	子供が1歳になるまで（条件を満たす場合は2歳まで延長可）
介護休業	対象家族1人につき通算93日まで（3回を上限として分割取得可能）
育児時間短縮勤務	子供が3歳になるまで
介護時間短縮勤務	介護短時間勤務利用開始から3年の間で2回以上

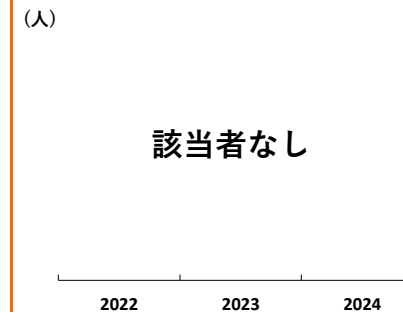
■育児休業者数



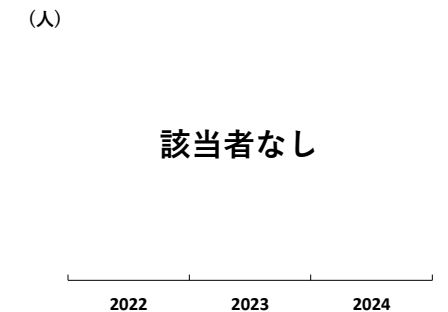
■育児時間短縮勤務者数



■介護休業者数



■介護時間短縮勤務者数



ESGデータ(3)

・報告対象期間 2024年度(2024年4月～2025年3月)

●教育に関するデータ

■スキルアップ・キャリアアップの支援

TAKAMAZは社員のスキルアップ・キャリアアップへの支援に力を入れており、階層別・専門教育を計画し、実施してるほか、随時OJTを行っています。

また、国家技能検定等、奨励資格を設定し、社員の自己啓発も促しています。会社指定の資格を取得した場合にはその重要度や難易度に応じて奨励金を支給し、自己啓発のための通信教育には受講料を補助しているほか、国内の大学院や研究所の社会人過程で学ぶ社員を対象に、学費の補助も行っています。

■奨励資格の合格人数

科目	2022年度 (人数)	2023年度 (人数)	2024年度 (人数)
国家技能検定 (特級)	3	2	1
国家技能検定 (1級)	12	13	10
国家技能検定 (2級)	22	25	18
社会保険労務士	1	-	-
知的財産管理技能士 (2級)	1	-	-
実用英語技能検定 (準1級)	-	-	-
第1種衛生管理者	1	-	-
QC検定 (2級)	-	1	-
ビジネスキャリア検定 (2級)	-	2	1
安全保障輸出管理 実務能力認定	-	1	-

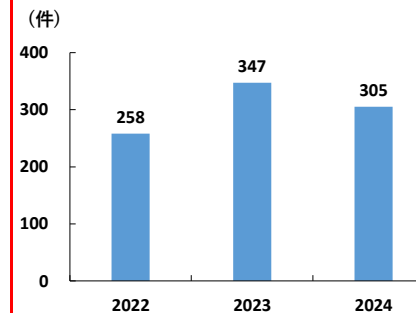
■主な奨励資格の保有人数

	科目	2024年度末 (人数)
国家技能検定 (計394人)	国家技能検定 (特級)	13
	国家技能検定 (1級)	127
	国家技能検定 (2級)	254
その他資格 (計75人)	QC検定 (2級)	7
	ビジネスキャリア検定 (2級)	49
	知的財産管理技能士※1 (2級)	4
	実用英語技能検定 (準1級)	2
	第1種衛生管理者	9
	その他※2	4

※1 旧知的財産検定を含んでいます。

2 その他には、技術士、社会保険労務士などを含んでいます。

■教育実施件数



■通信教育の利用人数

